

第4回通常社員総会次第

日時	令和3年6月4日(金)
	午後6時30分から
場所	ラトブ6階IT研修室

- |   |                 |
|---|-----------------|
| 1 | 開会              |
| 2 | 理事長挨拶           |
| 3 | 出席者報告           |
| 4 | 議長選出            |
| 5 | 議事録署名人の選出       |
| 6 | 議案審議            |
|   | 第1号議案 令和2年度事業報告 |
|   | 第2号議案 令和2年度収支決算 |
|   | 第3号議案 令和3年度事業計画 |
|   | 第4号議案 令和3年度収支予算 |
| 7 | 報告事項            |
| 8 | 閉会              |
| 9 | その他             |

令和2年度事業報告書

①事業の概要
平日の朝食の提供及び昼食の提供。 具体的には、朝食は、平第 14 区公民館で毎週火曜日、水曜日の 6:30～8:00 に実施しました。 大人 300 円、高校生 100 円、中学生以下の子ども 50 円の低料金で野菜、肉類、たんぱく質等、健康的でバランスの摂れた朝食を提供しました。

②状況や課題の程度
コロナ禍の中、小学校が休校でなければ実施しようとの考えのもと、1 月 2 月は地域公民館が閉鎖となり利用できませんでしたが、年度末で 70 回程度開催し、約 1,500 人程度参加しました。 平第 1 4 区の区長も毎週参加していただき、区長を囲むようなかたちで交流の輪ができ、コミュニティの場としてある程度実績ができたと考えています。 また、一人暮らしの高齢者の方で、参加されてより健康になり、地域の催しにも積極的に参加するようになった事例や閉じこもりがちだった小学生が家族と参加して、元気になった事例等もありました。
③一番苦労した事
苦労した点としては、朝食の必要性は理解していても、朝の忙しい時間帯に中々参加者が増えず、いかに多くの人に利用し来てもらうかに苦労しました。 公民館の掲示板に毎週掲示したのをはじめ、FB や LINE を活用しできるだけ多くの方の目に触れるようにしました。 また、コロナ禍で 3 密状態になる集会などの開催が厳しくなる中、感染防止対策をしっかりとたて、非接触型の体温計、手の消毒、飛沫防止、ソーシャルデスタンスの徹底などを行いました。

④反省点	<p>やはり、コロナ禍の中、緊急事態宣言等でコミュニティ食堂事業を休業せざるを得なかった期間もあり、参加者が2,000人には達しなかった。ランチは人が多くなり、どうしても3密状態になってしまうので開けませんでした。しかし、朝食は開催すれば40人になるときもあり、今後継続してやればかなりの数になると考えています。</p>
------	--

⑤事業の内容	<p>公民館で平日の朝食の提供を行いました。</p> <p>具体的には、朝食は、平第14区公民館で毎週火曜日、水曜日の6:30～8:00に実施。</p> <p>大人300円、高校生100円、中学以下の子ども50円の低料金でバランスの摂れた朝食を提供しました。</p> <p>この食堂は、子どもの成長の手助け、高齢者の体力づくりがメインにこなくてはなりません。1回限りのイベントではなく、日常レベルに落とし込んだ事業でなければ効果は出ないと考え、週2日、朝食の提供を実施しました。</p> <p>また、貧困対策がメインではないことを示すために、こども食堂ではなくコミュニティ食堂と名付け、子どもも無料ではなく敢えて有料としました。</p> <p>それから献立の周知を図るため、公民館の看板に掲示したほか、Facebook等で1週間分の献立を毎週発信しました。</p> <p>また、コミュニティ食堂事業の理解を深めてもらうため、「BREEZE IWAKI」にサイトを開設したほか、1か月に1回程度「コミュニティ食堂だより」を作成し、事業の周知に努めました。</p>
--------	--

⑥ 事業スケジュール

月	内容	場所や人数など
4月 ～ 6月	朝食を毎週火曜日、水曜日 6:00～8:00 に実施。 大人 300 円、高校生 100 円、子ども 50 円の料金でバランスの摂れた朝食を提供。 しかし、コロナ禍のため、4 月中旬から 5 月末までは事業を休止せざるを得なかった。	平第 14 区公民館で、 スタッフ 5 人程度、 参加者 20 人弱
7月 ～ 9月	コロナ下ではあるが 3 密に気を付けて、感染防止対策を万全にして、事業を継続した。平第 14 区公民館で毎週火曜日、水曜日の 6:30～8:00 に実施。	平第 14 区公民館で、 スタッフ 5 人程度、 参加者 20 人弱
10月 ～ 12月	コロナ下ではあるが 3 密に気を付けて、感染防止対策を万全にして、事業を継続した。平第 14 区公民館で毎週火曜日、水曜日の 6:30～8:00 に実施。	平第 14 区公民館で、 スタッフ 5 人程度、 参加者 20 人弱
1月 ～ 3月	再び感染拡大の様相を示し、1 月 2 月は公民館が休止となり、事業も休止になった。	平第 14 区公民館で、 スタッフ 5 人程度、 参加者 20 人弱

⑦ スタッフの役割分担	
<p>スタッフは、皆働いており、朝早い時間は厳しい状況で常勤はできない状態であった。</p> <p>そこで、調理の委託をし、前日に買出し、前処理をしておき、当日は調理してもらい、その他曜日ごとに割振られたボランティアが、炊飯、料理の盛付け、配膳、洗い等をするように役割分担を行った。</p>	
⑦-1 スタッフの専門性	⑦-② 外部団体等の協力
<p>調理師の免許を持つスタッフが２名おり、最初料理の基本的な指導を積極的に行ってくれた。</p> <p>また、ウェブ上でデータを処理するのが得意なスタッフがいて、月に１回程度「たより」を作成してくれた。</p>	<p>フタバ鶏卵さんから毎週温泉卵を頂いたり、食パン工房ルパンさんから余った食パンの提供、小名浜菜園さんから毎週トマトの提供、NP0 法人ザ・ピープルさんからフードドライブの提供、そしてふくしまこども食堂ネットワークと共催して２月に「食フェスタいわき」を実施しました。</p>

⑧ 事業の成果
<p>やはり、ボランティアとの協力体制の組み方、日計表等の経理、区長や館長をはじめとする地域との連携、補助金の活用の仕方等すべてが学びでした。</p> <p>そのような中で、年間 70 回程度事業を実施してきたこと、2 月 7 日に「食フエスタいわき」を開催できたこと等により、参加者や地域との間に信頼関係がより深く構築されたことが大きな成果だったと思います。</p> <p>やはり地道に継続して行うことが、このような社会事業には大事なのだと改めて気づかされました。</p> <p>また、参加者との話の中で、当該事業の改善点や新規にやるべき事業のヒントが得られることも多く、様々な方の思いや願いに耳を傾けていくことがニーズの発掘には必要なことだと感じています。</p>



## 令和２年度 英語教育サポーター事業報告書

・小学生を中心に、英語を楽しく学んで、英語を好きになってもらい、中学英語にスムーズに移行できるようにと「英語教育サポーター事業」を令和２年度から、いわき市教育委員会からの受託事業として始めた。

令和３年３月末現在、21名の英語サポーターが登録しており、平第一小学校など市内23小学校に派遣し、英語の授業をサポートしている。

因みに１学期は70回、２学期は468回、３学期は281回、合計819回の授業サポート等を実施した。事業費の合計は2,732,840円となっている。

・学期毎に謝金の精算を行うために一堂に集まってもらうが、その際、サポーターの授業に臨んでの感想や意見を発表してもらい、お互いの想い等を共有し、共通認識を持っていたくようにしている。また研修として、教育セミナーやITセミナー等を開催した。

・今年度は事業の初年度ということで、手探り状態で事業を進めてきたが、小学校との本事業導入の交渉や市教育委員会への要望等について、蛭田優子氏には大変尽力していただいた。また、事業サポートのスケジュール管理については、久留生夏帆サポーターに補助をお願いしている。

・市教育委員会が本事業を受け入れている小学校にアンケートをし、事業評価を行ったところ、概ね高い評価を受けており、委託先である市教育委員会でも満足したようであった。

活動計算書

特定非営利活動法人共創のまちサポート

令和 2年 4月 1日 至 令和 3年 3月31日

[税込] (単位：円)

【経常収益】		
【受取会費】		
正会員受取会費	29,000	
【受取寄付金】		
受取寄付金	1,507,781	
【受取助成金等】		
受取助成金	417,000	
受取補助金	1,000,000	1,417,000
【事業収益】		
受託事業収益	2,732,840	
事業収益	338,351	3,071,191
【その他収益】		
受取利息	14	
雑収益	10,000	10,014
経常収益計		6,034,986
【経常費用】		
【事業費】		
(人件費)		
給料手当(事業)	600,000	
通勤費(事業)	26,500	
福利厚生費(事業)	60,005	
人件費計	686,505	
(その他経費)		
売上原価	672,172	
業務委託費	290,000	
広告宣伝費(事業)	99,000	
諸謝金	1,486,200	
印刷製本費(事業)	75,091	
旅費交通費(事業)	126,000	
通信費(事業)	143,836	
消耗品費(事業)	639,693	
修繕費(事業)	3,650	
施設使用料(事業)	6,000	
保険料(事業)	33,170	
雑費(事業)	20,000	
その他経費計	3,594,812	
事業費計		4,281,317
【管理費】		
(人件費)		
役員報酬	900,000	
人件費計	900,000	
(その他経費)		
顧問料	66,000	
その他経費計	66,000	
管理費計	966,000	
経常費用計		5,247,317



活 動 計 算 書

特定非営利活動法人共創のまちサポート

自 令和 2年 4月 1日 至 令和 3年 3月31日

[税込] (単位：円)

当期経常増減額	787,669
【経常外収益】	
経常外収益 計	0
【経常外費用】	
経常外費用 計	0
税引前当期正味財産増減額	787,669
法人税、住民税及び事業税	248,601
当期正味財産増減額	539,068
前期繰越正味財産額	781,750
次期繰越正味財産額	1,320,818

貸借対照表

特定非営利活動法人共創のまちサポート  
全事業所

[税込] (単位：円)  
令和 3年 3月31日 現在

《資産の部》			
【流動資産】			
(現金・預金)			
東邦銀行	981	304,366	
ひまわり	457	127,492	
現金・預金 計		431,858	
(売上債権)			
未 収 金		1,137,560	
売上債権 計		1,137,560	
流動資産合計		1,569,418	
資産合計			1,569,418
《負債の部》			
【流動負債】			
未払法人税等			
流動負債合計		248,600	248,600
負債合計			248,600
《正味財産の部》			
前期繰越正味財産			
当期正味財産増減額		781,750	
正味財産合計		539,068	1,320,818
負債及び正味財産合計			1,569,418

財 産 目 録

特定非営利活動法人共創のまちサポート  
全事業所

[税込] (単位：円)  
令和 3年 3月31日 現在

《資産の部》	
【流動資産】	
(現金・預金)	
東邦銀行981	304,366
ひまわり457	127,492
現金・預金 計	431,858
(売上債権)	
未 収 金	1,137,560
売上債権 計	1,137,560
流動資産合計	1,569,418
資産合計	1,569,418
《負債の部》	
【流動負債】	
未払法人税等	248,600
流動負債合計	248,600
負債合計	248,600
正味財産	1,320,818

監査報告

令和２年度「特定非営利活動法人 共創のまちサポート」の  
収支決算内容及び財産状況を監査した結果、適正に執行されて  
いることを確認したのでここに報告します。

令和３年６月４日

監事 菊地 秀明



令和 3 年度事業計画書

① 事業の概要
食を通じて、地域のコミュニティの再生、地域経済の活性化、子どもの貧困解消等、複合的な課題の解決を図っていくことを目的とする。 コロナ禍の中、感染防止対策をさらに徹底し、集団で食事する形態から、3密を避け、自宅で食事をとってもらうテイクアウト型コミュニティ食堂事業を新たに展開する。 その他、足が不自由等、やむを得ずテイクアウトできない高齢者等にはその人の自宅へ届けるデリバリー方式も並行して行う。

② 事業対象の把握
対象は、地域のコミュニティの再編を大きな目標にしており、第 14 区集会所近隣に住む住民のほか、広く他地域の住民も対象とする。 具体的には、朝食を作るのが容易ではない共働き世帯、父子母子家庭、貧困等の世帯、独居高齢者、障害を持った一人暮らし世帯等、幅広い参加があれば事業の効果も上がると思われる。
③ 現状・課題
コロナ禍の中で、これまで行ってきた集団で朝食をとることが難しくなっている状況である。緊急事態宣言発布の中で地域公民館も全面的に使用禁止となっており、コミュニティ食堂事業も休止中である。 栄養バランスのよい朝食を公民館で、皆で楽しく食べようというコンセプトがようやく根付いてきた中で、なんとかまた再開してほしいという声も多く、感染防止対策をより徹底した形態で新たなコミュニティ食堂事業ができないかボランティアの方々とも話し合い、模索してきた。

現在、対象のおかれている現状・課題は、バランスのとれた朝食を摂れない人が多いということ、コロナ禍の中、地域公民館内で集まって食事することが困難であるということである。

④現状改善の具体的目標

上記の課題を解消すべく、テイクアウト型を主に、補完的なものとしてデリバリーにも対応できるコミュニティ食堂を新規事業としたい。これによって周辺地域の住民にある程度限定されるが、コロナ対策は徹底されると考える。

重点テーマの解決について、まず「地域支えあい」では、地域住民等の対象者にバランスのとれた朝食が摂れるように調理ボランティアの方々と公民館で朝食を作ること提供体制が取れること、またテイクアウトをして自宅へ戻る途中にデリバリーを望む家へ回ってもらう（そこで安否確認も可能）ことで地域住民同士の支えあいにも繋がっていくこと。

「コロナ社会」では、テイクアウト及びデリバリー型にすることで、3密となる集団での食事が回避されること、料理ボランティア及びテイクアウトで公民館へ来る方には、マスク着用は勿論、非接触体温計で検温し、消毒液で手洗いする等、感染防止策を徹底する。また、食事を入れる容器は基本的にランチジャー、スープジャー等にし、容器を専属的に貸与することで他人からの感染防止を図る。ランチジャー等にする理由は、手作り感のあり温かみのある食事のイメージがつけられること。既存のプラスチックの容器では、チープ感があり、既製品的であり、何よりもマイクプラスチック等の環境汚染の原因になることから使用しないことにした。



⑤計画内容
<ul style="list-style-type: none"><li>○コミュニティ食堂利用者に対し形態が変わる旨を周知する。</li><li>○これまでの利用者に新しい形態での参加の有無を確認する。</li><li>○地区の住民に回覧や掲示板にてコミュニティ食堂の形態が変わる旨を周知。</li><li>○FBやHP等SNSを使ってコミュニティ食堂の形態が変わる旨を周知。</li><li>○様々な方法で周知を図ることに参加したい方（予約者）のボリュームを確認する。40食（件）程度を当面の目標とする。</li><li>○既存のプラスチック製の使い捨ての食器は、地球環境の保全からSDG's的にも問題があること、手作りの温もり感が薄いことなど課題も多いことから、ランチャジャーやスープジャー、お弁当箱、タッパウェア等用途に応じて使用し、感染拡大防止策の観点から利用者専用の備品とする。</li><li>○第14区公民館で、午前6時30分からテイクアウトの受付が始められるようにする。（利用者は、感染拡大防止策として非接触体温計による検温、手の消毒、マスク着用の徹底）</li><li>○デリバリーは、ランチャジャー等の個人用の備品を2セット用意。渡して置いてくるときに前の備品を回収し、次回にも同様のサイクルを回していく。配達はボランティアに頼んで配達してもらう。その際に利用者の健康状況等安否確認も同時に行うなど地域支えあいにつなげていく。</li><li>○食中毒には十分気を付けるようにし、2時間以内には食べてもらう等早めに食べることを勧める。</li><li>○料金は、中学生までの子ども50円、高校生100円、大人300円。</li><li>○基本的に利用者は利用する前日まで予約制とし、作る量を確認する。</li></ul>

⑥ 事業スケジュール

月	内容	場所や人数など
4月 ～ 6月	週に2回程度（火、水）朝食の提供 （6:30～8:30）を行う。 1食当たり大人300円、高校生100円、 小中学生の子どもは50円。原則予約 制。 実施日及び献立メニューを公民館掲示 板やFB等のSNSで周知を図っていく。	場所：平第14区公民館 参加人数：40食程度 スタッフ数：5人/回
7月 ～ 9月	事業を継続しつつ、様々な機会を通し てテイクアウト事業の周知を広げ、新規 参加者の獲得や障がいを持つ方等デリバ リーが必要な人の把握にも努めていき たい。	場所：平第14区公民館 参加人数：40食程度 スタッフ数：5人/回
10月 ～ 12月	同上	同上
1月 ～ 3月	同上	同上

⑦事業に関わる団体の人数とその役割分担	
調理専門のボランティア1人の他に料理ボランティアを5人程度予定。役割は調理専門が食材購入、下処理、当日の調理を担当。他のボランティアは、曜日によって参加日を振分け、調理補助、食器等の消毒、配膳、食器洗い等を行う。	
⑦ー1 団体及びスタッフの実績、経験	⑦ー2 外部団体等の協力予定
3年前のコミュニティ食堂開始時から料理ボランティアをしてくださっている方が7人いる。	NP0 法人ザ・ピープル、ふくしまこども食堂ネットワーク、小名浜菜園、(有)フタバ鶏卵、ル・パン等から食材の提供等協力をいただいている。

⑧この事業の活用による団体の発展性
<p>この事業を通じてテイクアウトやデリバリーのノウハウを積むことができ、他の場所でも基本的に厨房があれば事業することが可能であり、自分たちでやるか、他団体へノウハウを伝えながら事業開始を支援するかで、いわき市内にコミュニティ食堂を10カ所程度実施できる状況にしていきたい。</p> <p>ちなみに郡山市、会津若松市等ではすでに10カ所以上存在しており、いわき市ではやま蔚さんと合わせ2カ所である。</p> <p>今年2月7日に「食フェスタいわき 食べて知ろうこども食堂」をら・ら・ミュウで開催（セミナー64名参加、ランチ100食完売）したが、そこでこども食堂をやりたい方が4,5名相談ブースに来るなど潜在的なポテンシャルは結構高いのではと考えている。</p> <p>このような方々をさらに掘り起こし、いわき市にも食堂を増やし、ネットワーク化して、食材などを調達し合ったり、連携してイベントを開催する等有機的な展開が図れるようにしていきたい。</p>

## 令和3年度 英語教育サポーター事業計画書

- ・これまでは、事業内容を文書でまとめたものはなく、市で提供した資料や、LINE で謝金や旅費等を確認してきた。今後は様々な展開が予想されるので、誤解のないようにするため、これらを纏め「英語教育サポーター派遣業務」を文書化し、覚書を各サポーターと交わしてお互いに事業を理解し承諾していることを明確にする。
- ・学期毎に謝金の精算を行うために一堂に集まってもらうが、その際、サポーターの感想や意見の発表及びスキルアップのための何らかの研修を昨年度に引き続き開催していきたい。
- ・コロナ禍でALTの人数も減少しており、本事業への評価も高いことから、新規のオフナーや授業サポートの回数が増加する可能性がある。これを踏まえ、本事業の概要をパンフレット化し、新たな小学校へ本事業を説明し、オフナーを取れるように自分たちでも働きかけを行っていきたい。
- ・ニーズに応じて現在の英語サポーター数では賄いきれなくなることが予想されるときは、新規英語サポーターの採用も視野に入れておく必要がある。
- ・担任教師が一番苦手とする英語の発音について、英語サポーターも全体のレベルアップが必要と思われるため、ZOOM等を使った研修も検討していきたい。

令和3年度 特定非営利活動

テイクアウト型コミュニティ食堂事業			
合計			
収入の部			
経費項目	収入額	収入額	積算基礎
自主財源	668,890	668,890	寄附
			その他
			600,000円 68,890円
事業収入	350,000	350,000	朝食代
			20人×300円×50回=300,000円 20人×50円×50回=50,000円
補助金等	4,500,000	1,000,000	いわき市補助金
			まちづくり活動支援事業 1,000,
その他助成金	1,200,000	1,200,000	東北サンさんプロジェクト 未来チャレンジプログラム 1,00
			励ふくしま未来研究会 励ふくしま未来研究会 200,000円
合計	6,718,890	3,218,890	

支出の部			
経費項目	支出額	支出額	内容
謝金	3,108,000	868,000	税理士顧問料
			HP更新代等
			ポラ謝金
			調理謝金
旅費	212,400	12,400	
			郡山高速バス代 3,100円×4回=
消耗品費		293,470	台所用品関連
			ラベンジャー・スーパージュエ
			エコバッグ
印刷製本費	42,000	42,000	事務関連代
			広報紙
通信運搬費	199,200	169,200	広報紙郵送代
			150人×94円×12回=169,200円
使用料	22,000	12,000	公民館使用料
			1,000×12月=12,000円
原材料費	720,000	720,000	食材費
			朝食 200円/人×40人/回×90回/
備品購入費	200,000		
保険料	21,820	21,820	事業活動包括保険
			超ビジネス保険（事業活動包括保
給与等	1,800,000	1,080,000	
			役員報酬 90,000円/月×12ヶ月=
その他			
合計	6,718,890	3,218,890	



人共創のまちサポート予算書

東郷教育事務所

	テイクアウト型コミュニティ食堂事業 (単位:円)		
	収入額	内容	積算基礎
円	3,500,000	市教委受託費	3,500,000
10円			
	3,500,000		

	支出額	内容	積算基礎
	2,240,000	打合せ時謝金	
000円		授業サポート時謝金	
		スケジュール補助	10,000円/月×12月=120,000円
100円	200,000	交通費	500円/日×400日=200,000円
	100,000	ネームプレート代等	
等20,800円			
	30,000	広報紙郵送代等	25名×94円×12月=28,200円
	10,000	研修会時室料	3,000円×3回=9,000円
720,000円			
	200,000	教科書代等	
21,820円			
80,000円	720,000	職員給与	60,000円/月×12月=720,000円
	3,500,000		



令和 2 年度社員名簿

(特定非営利活動法人 共創のまちサポート)

氏 名	住 所 又 は 居 所
増子 裕昭	いわき市平字高月 103 番地の 1
國井 達夫	いわき市平字新川町 14 番地
菅波 健	いわき市平神谷作字原前 5 番地
山本 健一	いわき市中央台高久 2 丁目 12 番地の 6
石井 波夫	いわき市平字六人町 26 番地の 16
高萩 芳	いわき市中央台鹿島 3 丁目 45 番地の 3
阿邊 智	いわき市瀬戸町竜ノ沢 9 番地
金澤 葉月	いわき市平谷川瀬字三十九町 39 番地の 1 ライフコート B-2
増子 浩子	いわき市平字高月 103 番地の 1
神田 芳江	いわき市好間町下好間一町坪 137 番地の 1
川崎 葉子	いわき市平下荒川川前 132 番地の 4
蛭田 優子	いわき市遠野町上根本字荒神平 96-3
塩田 美枝子	いわき市常磐松ケ台 2

(法 第 1 0 条関係)

役員名簿

特定非営利活動法人 共創のまちサポート				
役職名	氏 名	住 所 又 は 居 所	報酬の有無	
理事長	増子 裕昭	いわき市平字高月 103 番地の 1	有	
副理事長	國井 達夫	いわき市平字新川町 14 番地	無	
理事	菅波 健	いわき市平神谷作字原前 5 番地	無	
監事	菊地 秀明	いわき市名浜字中原 1 番地の 8	無	

備考

- 1 「役職名」には、理事、監事の別を記載する。
- 2 「住所又は居所」には、福島県特定非営利活動促進法施行条例第 2 条第 3 項に掲げる書面（住民票等）によって証された住所又は居所を記載する。
- 3 「報酬の有無」の欄には、定款の定めに従い報酬を受ける役員には「有」、報酬を受けない役員には「無」を記入する。
- 4 役員総数に対する報酬を受ける役員数（「報酬の有無」欄の「有」の数）の割合は、3 分の 1 以下でなければならない（法第 2 条第 2 項第 1 号ロ）。
- 4 用紙の大きさは、日本工業規格 A 列 4 番とする。